

# まるべに

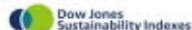
株主レポート

## CONTENTS

- |    |                                                     |    |             |
|----|-----------------------------------------------------|----|-------------|
| 02 | 社長メッセージ<br>2008年度第2四半期決算の概要と<br>中期経営計画“SG2009”の進捗状況 | 11 | 私たちにできること   |
| 06 | 連結決算情報                                              | 12 | 丸紅のあゆみ      |
| 07 | セグメント情報                                             | 14 | 世界の食卓       |
| 08 | 丸紅グループの動向                                           | 16 | お国柄エッセイ     |
| 09 | 丸紅クリッピング                                            | 17 | 商品情報        |
|    |                                                     | 18 | IRインフォメーション |



東証上場会社表彰  
東京証券取引所  
「平成 19 年度ディスクロージャー表彰」  
の表彰会社に選定されました。



150<sup>th</sup>  
Anniversary



2  
0  
0  
8  
W  
I  
N  
T  
E  
R

丸紅のCSR活動

## 100円クラブ

「100円クラブ」は一口100円の寄付金を毎月積み立てる丸紅のユニークな取り組みで、グループの役員や社員、退職者の有志によって実行されています。13年前から始まり、2007年度は1,173万円の善意が集まりました。寄付金は、丸紅が企業として同額を拠出するマッチングギフトと合わせ、丸紅基金の社会福祉助成（毎年1億円）の一部に充てられています。

No.  
105

# 2008年度第2四半期決算の概要と 中期経営計画“SG2009”の進捗状況

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
当社は、去る10月31日に、2008年度第2四半期(2008年9月期)決算を発表いたしました。  
この機会に、2008年度第2四半期決算の概要につき、簡単にご報告申し上げます。

## 1 2008年度第2四半期決算の概要

まず、収益面ですが、当第2四半期累計期間の連結純利益は1,064億円となりました。当社史上初の半期での1,000億円台の純利益であり、前年同期比、率にして32%、金額にして261億円の大幅増益となりました。7期連続で対前年同期比増益を達成するとともに、5期連続で当社第2四半期累計期間最高益を更新しております。

期初見込んでおりました今年度の連結純利益見通し1,650億円に対しては65%の進捗率となり、新中期経営計画“SG2009”の初年度としては、当初想定していた以上に順調なスタートダッシュを切れたと考えております。

また、当社の実質的な稼ぐ力を示す「実態営業利益」と「基礎収益」ですが、「実態営業利益」は、前年同期比、率にして45%、金額にして432億円増

加の1,392億円、「基礎収益」は、前年同期比、率にして46%、金額にして524億円増加の1,657億円となりました。

実態営業利益、基礎収益、ともに5期連続での増益、さらに実態営業利益は4期連続、基礎収益は5期連続での当社最高益の更新となっております。

前年同期比で、この第2四半期累計期間での当社収益の増加要因を分析しますと、原油、銅、石炭など商品価格の上昇による増益の影響が約半分、残り半分为食料、紙パルプ、機械関連等の非資源分野を中心にした既存ビジネスの増益によるものであり、決して商品価格の高騰のみでこの大幅増益が実現できた訳ではありません。

しかし、ご存じの通り、米国サブプライム問題に端を発した金融危機が、グローバルな範囲で実態経済に影響を及ぼしはじめました。ここにきて今まで

順調であった新興国経済の成長にも陰りが見えはじめ、商品市況も調整局面に入り、世界経済全体の見通しにも暗雲が立ち込めて来ております。

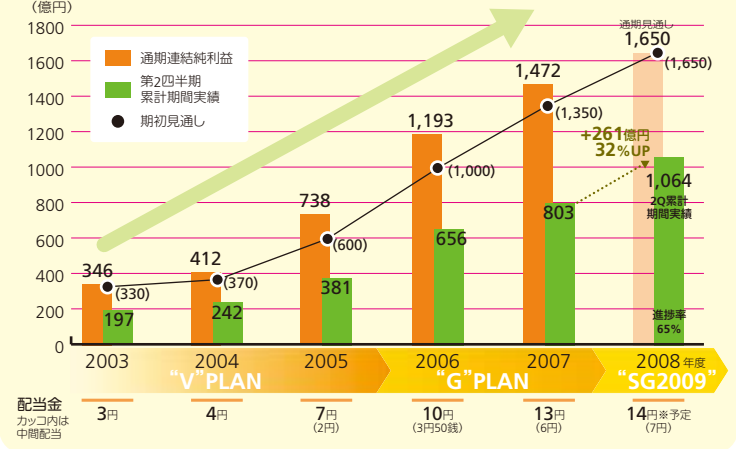
このような厳しい環境下においても、当社の収益力は着実に伸びており、通期業績見通しについては、実態営業利益は従来の2,250億円から2,550億円に、基礎収益は2,650億円から2,980億円に、それぞれ上方修正しましたが、急激な為替の変動、世界同時株安といった不測の事態に備えて、連結純利益の見通しは期初計画通りの1,650億円とさせていただきました。

次に財務面ですが、ネット有利子負債は2兆163億円と、2007年度末比144億円の微増、その一方で、株主資本は、期間利益の積み上げにより、2007年度末比623億円増加して8,421億円となりました。

その結果、ネットD/Eレシオは、前年度末より0.18



● 連結純利益の推移



ポイント低下の2.39倍となり、“SG2009”の目標である「2倍台前半」をキープしております。

ネットリスクアセットについては、2007年度末比157億円増加し、7,240億円となりました。結果として、株主資本とネットリスクアセットの差額であるリスク・バッファは、1,200億円近いレベルを確保。引き続き当社のリスク・マネジメントの基本方針である「株主資本の総額がリスクアセットを上回っている状況を堅持」し、財務面での安定性を維持しております。

世界経済が後退局面に差し掛かっているこの時期こそ、適切なリスク・コントロール、リスク・マネジメントが大事であると認識しており、引き続き案件審査の厳格化、投資基準の厳格適用、さらには案件フォローアップの強化といったリスク・マネジメントを継続実施して参ります。

## 2 新規投資について

“SG2009”では、今後の当社の持続的成長に向けて、2年間で6,000億円の新規投資資を実行する計画としておりますが、当第2四半期累計期間につきましては、約600億円の新規投融資を実行いたしました。

主要投資案件ですが、まず海外IPP関連では、シンガポールの発電設備容量の約32%にあたる3,300メガワットの発電資産を保有するシンガポール最大の電力会社セノコ・パワー・リミテッド社を関西電力、九州電力、国際協力銀行、GDFスエズと組んで買収いたしました。

さらに、米国西海岸で最大級のグレーンエレベーターを保有するコロンビアグレーン社を通じて、新たに北米の穀物エレベーター、および農業資材倉庫を買収いたしました。これにより、保管能力は現行



セノコ・パワー・リミテッド社の発電所

の90万トンから110万トンに20% 拡張することになります。

今後は成長性のある中国・アジア向け輸出の拡大に加え、中東など新たな消費地向けの取引を拡大することにより、商社No.1である穀物トレーディングを一層強化していきたいと考えております。

## 3 最後に

このように“SG2009”のスタートとなる2008年度の第2四半期決算は、収益の面でも、財務体質の面でも順調な滑り出しを見せており、“SG2009”は今のところ当初の想定を上回るスピードで進んでいると評価しております。

一方で、当社を取り巻く経営環境を見ると、サブプライム問題に端を発した金融危機が、いよいよ实体经济にまで影響を及ぼしはじめ、世界経済そのもの



コロンビアグレーン社の輸出ターミナル

のが大きな転換点を迎えつつあります。

高騰が続いていた資源価格も調整局面に入り、さらには全世界同時株安、急激な為替変動と、経済情勢についても不確実・不安定な要素が多く、予断を許さない情勢であると認識しております。

しかしながら、この変化の大きい経営環境は、競合相手の減少や資産価格調整をもたらしており、投資機会は拡大し、当社にとって大きなビジネス・チャンスが到来しているとも言えます。

このような環境下、下期についても慎重に、戦略的・機動的に案件を選別しながら新規投資に臨むことで、“SG2009”の達成に向けて、当社が持続的な成長を実現していくためのさまざまな布石を打っていきと考えております。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を頂戴いたしたく、宜しくお願い申し上げます。



## 1. 2009年3月期第2四半期の連結業績 (2008年4月1日～2008年9月30日)

(百万円未満四捨五入)  
(%表示は対前年同四半期増減率)

| (1) 連結経営成績〔累計〕 | 売上高<br>[百万円]      | 営業利益<br>[百万円]   | 税引前四半期純利益<br>[百万円] | 四半期純利益<br>[百万円] | 1株当たり四半期純利益<br>[円] |
|----------------|-------------------|-----------------|--------------------|-----------------|--------------------|
| 2009年3月期第2四半期  | 5,881,762 (15.4%) | 139,410 (45.8%) | 170,338 (38.2%)    | 106,439 (32.5%) | 61.30              |
| 2008年3月期第2四半期  | 5,096,961 (8.8%)  | 95,601 (5.2%)   | 123,296 (15.2%)    | 80,336 (22.4%)  | 46.35              |

- ・売上高及び営業利益については、日本の投資家の便宜を考慮して、日本の会計慣行に従い表示しております。
- ・売上高は、当社及び連結子会社が契約当事者または代理人等として行った取引額の合計額となっております。
- ・営業利益は連結損益計算書における「売上総利益」、「販売費及び一般管理費」及び「貸倒引当金戻入額(△繰入額)」の合計として算定しております。

## (2) 連結財政状態

|               | 総資産<br>[百万円] | 株主資本<br>[百万円] | 株主資本比率 | 1株当たり株主資本<br>[円] |
|---------------|--------------|---------------|--------|------------------|
| 2009年3月期第2四半期 | 5,499,021    | 842,094       | 15.3%  | 484.95           |
| 2008年3月期      | 5,207,225    | 779,764       | 15.0%  | 449.04           |

- ・株主資本、株主資本比率、1株当たり株主資本は、米国会計基準に基づき記載をしております。

## 2. 配当の状況

| (基準日)        | 第1四半期末 | 1株当たり配当金 [円]<br>第2四半期末<br>第3四半期末 | 期末 | 年間    |
|--------------|--------|----------------------------------|----|-------|
| 2008年3月期     | -      | 6.00                             | -  | 7.00  |
| 2009年3月期     | -      | 7.00                             |    | 14.00 |
| 2009年3月期(予想) |        |                                  | -  | 7.00  |

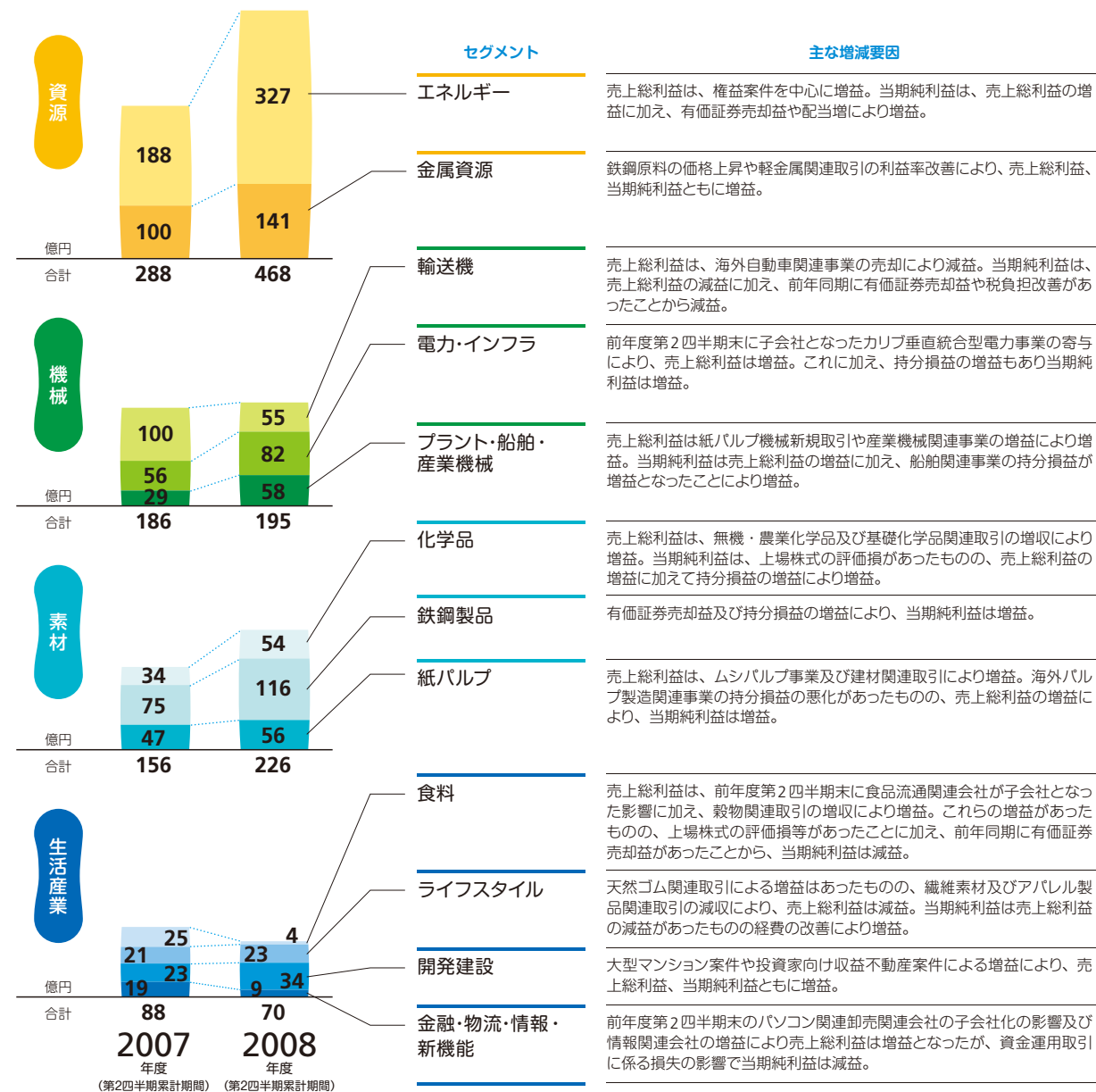
- ・配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 2009年3月期の連結業績予想 (2008年4月1日～2009年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

|    | 売上高<br>[百万円]       | 営業利益<br>[百万円]   | 税引前当期純利益<br>[百万円] | 当期純利益<br>[百万円]  | 1株当たり当期純利益<br>[円] |
|----|--------------------|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| 通期 | 11,900,000 (11.9%) | 252,000 (25.9%) | 270,000 (24.9%)   | 165,000 (12.1%) | 95.02             |

- ・連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有



- ・連結合計には、このほかに「海外支店・現地法人」(2008年度第2四半期累計期間・104億、2007年度第2四半期累計期間・68億)、及び「全社及び消去等」(2008年度第2四半期累計期間・1億、2007年度第2四半期累計期間・17億)が含まれております。
- ・各オペレーティング・セグメントにおける業績評価管理は米国会計基準に基づいて行っております。

## 2008.4.1-9.30

- 4.4 米国メキシコ湾で原油を発見
- 4.7 米国で発電所向けアフターサービス事業へ参画
- 4.25 チリ共和国における  
鉱山の権益取得について P9
- 4.30 新・中期経営計画(2008-2009年度)  
"SG2009"を発表
- 5.26 郵便事業株式会社の2008年度  
カーボンオフセット年賀寄附金  
配分事業において、  
当社が排出権供給先に採択される
- 7.16 タイ王国IPP事業者から  
コジェネレーション発電設備建設を受注
- 8.6 グループ100%子会社の  
コロンビアグリーン社を通じて  
エージーピーグリーン社の資産を買収  
——北米産穀物の内陸集荷網を拡充 P10
- 8.11 中東最大規模の下水処理場向けポンプ場・  
送水管を受注
- 9.1 丸紅株式会社による  
イオントップバリュ株式会社・  
イオン商品調達株式会社への出資に関する  
お知らせ
- 9.2 日野自動車と丸紅、販売合併会社を設立し  
インド市場に参入
- 9.5 「セノコ・パワー・リミテッド社」の  
株式売買契約の締結について  
——シンガポール最大の電力会社の株式取得

## 2008.4.4

米国メキシコ湾における  
原油の発見について

当社は、100%出資する米国子会社 Marubeni Oil & Gas (USA) Inc. を通じて 11.25% の権益を持つ米国メキシコ湾コディアック鉱区で、原油を発見しました。パートナーはオペレーターで英国メジャー BP とイタリア・メジャー ENI の米国子会社(権益は 63.75%、25% ずつ)です。



## 2008.9.5

「セノコ・パワー・リミテッド社」の  
株式売買契約の締結について  
——シンガポール最大の電力会社の株式取得

当社は関西電力、九州電力、国際協力銀行、GDF スエズとともに、シンガポール政府系投資会社テマセック・ホールディングスと9月5日に同国の約 32%、3,300 メガワットの発電資産を持つ「セノコ・パワー・リミテッド社」の株式売買契約を締結、12日に全株式を取得しました。今後は安定収益と同国の電力事業への寄与を目指します。

セノコ社発電所



## 2008.4.25

## チリ共和国における鉱山の権益取得について

当社は、世界有数の銅生産会社であるアントファガスタ社との間で、同社が間接的に 100% の権益を持つエスペランサおよびエルテソロ鉱山の両プロジェクトの各々 30% の持分を合計 13 億 1,000 万米ドルで取得、また、エスペランサ鉱山の開発費用のうち当社の持分相当、約 6 億米ドルの拠出について合意しました。よって、当社は総額約 19 億米ドルを本事業に投資します。なお、エルテソロ鉱山は年間約 9.3 万トン(2007 年実績)の銅地金を生産しており、エスペランサ鉱山は 2010 年末から生産開始を目指し開発中。年間平均 70 万トンの銅精鉱を生産する予定です。

## 当社の狙い

当社は本プロジェクトにおいて、日本の総輸入量の 5% に相当する 21 万トンの銅精鉱を日本向けに引き取る権利を有しています。本件の実施によって、2011 年には当社の銅事業の持分権益量は銅地金換算で年産 12 万トンとなる予定です。また、日本の銅資源確保という観点からも、大きな貢献が可能になります。

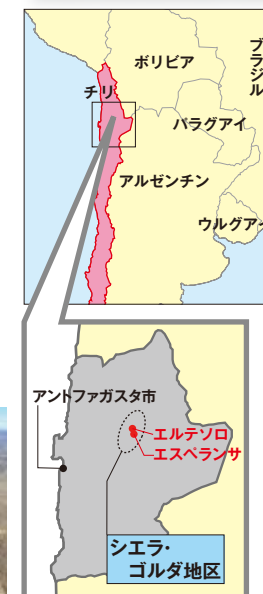
## 展望

アントファガスタ社とは、同社が 60% の権益を保有するロスペランブレス鉱山プロジェクトでも、良好かつ長期的なパートナーシップを確立。今回の合意で関係はさらに強固となることと確信しています。

当社は今後も鉱山・炭鉱開発や製錬プロジェクトなどの海外投資により、事業収益の継続的拡大を図っていきます。



※著作権の関係により、ネットワーク上への記事原文、記載画像の掲載は行いません。



2008年4月25日  
日本経済新聞朝刊  
1面掲載記事より  
作成

シエラ・ゴルダ地区で  
開発が進められている  
エスペランサ鉱山とエ  
ルテソロ鉱山(写真)

# 「体感する」社会貢献に 多くの社員が参加

丸紅グループが社会や環境などに貢献している分野をご紹介します。  
今回は、恒例となったおみこし担ぎボランティアと新入社員の体験講座です。

## 神田祭おみこし担ぎボランティア

2008年5月11日、地域社会への貢献と伝統文化継承を目的に、大手町や丸の内周辺の企業から総勢800名、丸紅グループからも80名の社員・家族がおみこし担ぎに参加しました。

4回目の参加となる今年は「陰祭り」と言われる年で神田神社への宮入りはせず、当社をはじめ参加各社の前でおはらいをしながら大手町周辺を練り歩きました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、そろいの衣装に着替えると気持ちが引き締まり、見知らぬ人とも自然に一体感が生まれます。おみこしを担ぐと予想以上の重さに威勢の良い掛け声が上がリ、その熱気に雨が降るのも忘れてしまうほど。普段はほとんど接することのない人々と代わる代わる一つのおみこしを担ぎながら歩くと、見慣れたはずのオフィス街も普段とは全く違って映ります。肩にあざができたという参加者もいましたが、「肩の痛みや疲れも心地良かった」「エネルギーをもらった」「伝統行事に肌で触れ充実感が得られた」などの多くの感想が寄せられました。

## 新入社員向け社会貢献体験講座

2008年4月2日、新入社員全員を対象に「社会貢献体験講座」を行いました。今年は盲導犬を同伴した視覚障がい者を講師に招き、日常生活のことなどを話していただき、実際に代表者数名がアイマスクと白杖を用いて視覚障がい者とガイドヘルパーを体験しました。「普段、困っている人を見かけてもどうしてよいか分からない」の質問には「駅のホームが一番怖い場所。声を掛けて誘導してほしい」とのこと。真剣に耳を傾ける新入社員の姿が見られました。活発な質疑応答が行われ、盲導犬や視覚障がい者への理解が深まりました。

熱気にあふれる  
おみこし担ぎ



視覚障がい者と  
ガイドヘルパーの  
実体験も行われた



2008.8.6

## グループ100%子会社のコロンビアグレーン社を 通じてエージーピーグレーン社の資産を買収 ——北米産穀物の内陸集荷網を拡充

当社食料部門は、グループ100%子会社であるコロンビアグレーン社（Columbia Grain, Inc. 以下「CGI社」）を通じて、油糧種子加工業のアグプロセッシング社（AG Processing, Inc.）の子会社であるエージーピーグレーン社（AGP Grain, Ltd.）の資産を買収しました。それにより、米国・ノースダコタ州およびミネソタ州に所有する穀物エレベーター 8基および農業資材倉庫2カ所などを保有することになります。CGI社は1978年に設立され、米国西海岸地域で最大規模の穀物輸出量を誇り、シェア35%を有しています。

### 当社の狙い

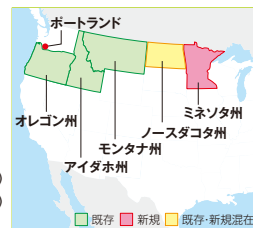
近年、世界的な需要拡大で穀物需給がひっ迫する中では、日本市場への「安定供給」とアジア市場への「量の確保」が非常に重要な課題です。丸紅は、日本を中心としたアジア向け穀物の安定供給、効率的な物流の拠点である西海岸地域に、小麦に加え、とうもろこし、大豆の集荷体制を整えました。

### 展望

CGI社は90年代から米国内陸へ自家集荷網の拡充を進めてきましたが、さらなる業容の拡大への布石として今回の買収に至りました。この買収によりCGI社のノースダコタ州およびミネソタ州における集荷能力は著しく向上し、穀物の保管能力が拡張されます。

2008年8月6日  
日本経済新聞朝刊  
1面掲載記事より作成

新規・既存エレベーター配置図(左)  
穀物エレベーター(右)



※著作権の関係により、  
ネットワーク上への記事  
原文、記載画像の掲載は  
行いません。



当社は2008年、おかげさまで創業150周年を迎えました。  
これを記念して、これまでの当社のあゆみを3号連載でご紹介いたします。

## 第3回 バブル崩壊から150周年まで 1991-2008

### ●失われた10年

1990年代の日本経済は、バブル崩壊の後遺症が重くのし掛かり、長期不況に陥りました。資産価値の下落によって生じた多額の不良資産が、深刻な金融システムの不安を招き、企業の倒産・再編は、中堅商社や大手金融機関にまでおよびました。

当社も大規模なリストラを進め、管理部門のスリム化や営業組織の再編、関係会社の整理統合を実行。このため1997年度に単体で308億円、翌1998年度は連結で1,177億円の純損失と巨額赤字決算になったのです。

米国やアジアは好調な経済成長を続けていましたが、1997年にアジア各地で発生した通貨危機により、景気は一気に冷え込みました。2000年代には米国も、ITバブルの崩壊や9.11N.Y.同時多発テロなどの影響で、景気は低迷。立ち直りかけた業績に、冷や水を浴びせかけられる形になってしまいました。

### ●ついに株価が58円に

厳しい経営環境の中で、1999年4月に就任

した辻社長は、「リストラクチャリング・プラン」に取り組みました。財務、事業会社、人事制度、組織とあらゆる面にわたるリストラ策を実行し、2000年度の業績は連結で150億円の純利益を上げるまでに回復。

2001年からは@ction21を開始し、「拡大と進化」への転換を図ったものの、世界経済の減速を背景につまずきが生じました。

2001年11月に2,080億円の特別損失を計上する@ction21 “A” PLANを発表するも、市場の評価は厳しく、同年12月19日には株価が58円にまで急落。2002年に入っても、100円台前半を推移する危機的状況が続きました。

業績の落ち込みに対して、経営会議の運営を変更して意志決定のスピードアップを図るとともに、既存事業の選択と集中を進め、不採算部門からの撤退と付加価値の増大を図りました。また、リスクを計量化して判断する統合リスク管理、PATRACと呼ばれる経営指標評価を導入しました。それらの施策が効果を発揮し、2002年度の連結純利益は303億円へと急回復しました。

### ●飛躍的成長へ

2003年4月には勝俣社長の就任とともに、“V” PLANを開始。再生・飛躍へのシナリオを目指す“V” PLANでは、ビジネスモデル別に経営戦略を明確にし、ユニット制を採用した営業組織の下で、ポートフォリオ・マネジメントを実践しました。

つづく“G” PLANは、2007年度までの2年間に攻めと飛躍に向けての経営を展開。戦略分野への重点投資とリスク管理の強化、ポートフォリオ・マネジメントの徹底、社内連携の強化などが実を結び、飛躍的な成長を果たしたのです。連結純利益は、2003年度から5期連続で過去最高益を更新し、2007年度には1,472億円に達しました。

### ●より充実したCSR\*1活動の推進

150周年を迎えた2008年4月からは、朝田新社長の下で中期経営計画“SG2009”がスタート。持続的成長を宣言する“SG2009”では、「攻め」の方向性を継続しながら、特に株主重視の経営を強調しました。2009年度の目標数値は、ROE\*2が18%程度、連結配当性向が15%という水準に設定しています。

持続的成長の実現には、CSRへの取り組みが不可欠。当社では、すでに2004年4月にはCSR委員会を設置し、2008年4月には環境委



韓国で最大規模の風力発電に参画(上)  
オーストラリアをはじめ、ブラジルやインドネシアなどで植林事業を展開(左)

員会と統合してCSR・環境委員会を発足。包括的なCSR活動を強化しました。

内部統制には、2004年から財務報告の信頼性確保に焦点をあてたMARICOプロジェクトをスタート。2年間におよぶ膨大な作業を経て、2005年度末に内部統制システムが完成しました。

また環境保全の面でも、CDM\*3事業をはじめとするCO<sub>2</sub>排出権ビジネスなど、環境ビジネスの推進を通じて持続可能な社会の実現に貢献しています。

当社の社会貢献を重視する姿勢は、戦前の店法から戦後の「正・新・和」という社是へと、脈々と受け継がれてきた歴史あるものです。こうした先人たちの150年におよぶ努力の上に、当社はさらなる飛躍を期して挑戦を続けていきます。

\*1 CSR : Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)

\*2 ROE : 株主資本利益率=当期純利益÷株主資本

\*3 CDM : Clean Development Mechanism(クリーン開発メカニズム)



## ブンリュー

ベトナムの北部で  
ポピュラーなトマトベースの麺。  
市場の食堂やカフェで人気のメニューです。

## レシピ紹介

4人前

材料

ビーフン 250g 豚肉 50g  
カニ肉 300g 卵 5個  
干しエビ 50g レモン1/2個  
トマト 200g 水 丼2杯  
エビペースト……大さじ2杯  
砂糖、塩、コショウ、ニョク  
マム、味の素…………… 適量  
チリソース、トマトペースト、  
ねぎ、鶏ガラスープの素 適量  
**トッピング**  
空心菜 1束 ハーブ 50g  
もやし 1袋 唐辛子 1本



干しエビとカニ肉を細かく刻み、豚肉と卵を加えて混ぜる。味付けは砂糖、塩、コショウとニョクマム。

**Point**肉だんごにするので、卵を加えたら粘りが出るまでよく混ぜ合わせましょう。



熱した油できざんだねぎをよく炒め、大きめに切ったトマトとトマトペースト、チリソース、味の素、水、鶏ガラスープを加えて煮立たせる。

**Point**牛骨からスープをつくられば、より本場に近づきます。



大さじ2杯のエビペーストに、1/2個分のレモン汁を絞り、よく混ぜ合わせてスープに加える。

## 食文化や習慣が親しみやすいベトナム

細貝さんが4年半駐在していたハノイは、赤レンガ造りの街並みが美しい都市。お盆やお正月のある暦に沿った人々の生活や、目上の人を敬い、子供を大事にする習慣などが日本とよく似ていて、親しみを感じたそうです。

例えば、テト（旧正月）は「同僚や友人宅へ年始回りをします。子どもにお年玉をあげたり、鶏肉や大根など縁起のよい食材を使ったおせち料理やお餅を食べます」と由紀子さん。

このお餅は、餅米に豆や肉を入れバナナの大きな葉で包んで蒸したバインチュンと呼ばれる料理。正月用の保存食として作られ、それぞれの家庭で味が違うもの。テトでは「新年最初のお客さまによって、その家の運勢が決まるといわれ、若くて仕事熱心な男性などが喜ばれる風習がある」とのこと。

「食事はお米や野菜が中心なので、味付けもさっぱりしているためなじみやすかったです」と細貝さん。

丸紅 石炭部  
プロジェクト課長

細貝 裕一・由紀子ご夫妻  
（店長のファム・スアン・クエさん、シェフのファン・ゴッグ・ビッチさん）

1996年から1998年まで研修生として在ハノイ、その後、2001年から2006年までハノイ支店駐在



「フォーやブンなどの麺類は、よく食べていました。ごちゃごちゃした市場の屋台で食べるのがいいんですよ」と振り返ります。お休みの日には家族で街を散策し、屋台に立ち寄りたりして過ごしたそうです。

「ベトナム＝熱帯」というイメージがありますが、短いながらも冬があり四季の移ろいもあるハノイ。「環境や食文化が日本に似ていることももちろんですが、ベトナムには明るく温かい人が多いのが魅力ですね」と細貝さんは語ってくれました。



ハノイにてご友人の皆様と会食

取材協力店

## サイゴンレストラン

東京都豊島区東池袋 1-7-10  
鳥駒第一ビル 3F  
Tel 03-3989-0255

【交通】JR、東京メトロ「池袋駅」  
徒歩 3分

【営業】11:30～14:30、17:00～22:30  
（月～金曜日）  
11:30～22:30（土、日、祝祭日）

<http://www.saigonrestaurant.jp/>





世界各地で活躍する丸紅グループ社員の現地でのエッセイをお届けします。



さか なし まさ のり  
**坂梨正典**  
丸紅 ブダペスト出張所

ドナウ川の流れが東西から南北に変わるころ、首都ブダペストはもう目の前。これほどドナウが似合う街を私は知りません。はるか昔、ウラル山脈から流れてきた彼らはこの地に定住後、周辺諸国からの支配など、数々の苦難を乗り越え今日に至ります。

### ①ハンガリー人(マジャル人)

ハンガリー人には、どこか親しみを覚えます。きっとアジアのDNAが残っていて、周辺諸国と全く異なる民族・言語であることが、日本人に似たきまじめさを醸し出すのでしょうか。会議でもジョークは無し、いきなり本題に入ります。「第2次大戦同盟国」、「奇跡の経済復興と先端技術」、「アニメ・MANGA」といった日本に対する印象からか、対日感情も極めて良好です。

## ②ハンガリー語

マジカル語とも呼ばれる特殊言語です。これには大変苦労します。赴任以来学習中ですが、上達兆候は皆無。先日掃除機を買ったのですが、店員の説明一切不明、取扱説明書も解読不能、一瞬嫌な予感。三週間後に壊れ、店に持って行くと保証書にあるサービスセンターに行ってくれ（と言われたものと想像）で終わり。涙をこらえて新品を買い直しました。

### ③おいしいもの

フォアグラ（実は大産地）、プブリカ（ピーマンの赤や橙、黄色版）などおいしいものがたくさんあります。その中から、クルトゥーシュ・カラーチュ（トンネル菓子パン）をご紹介します。それはパン生地を太い木の棒に巻きつけバターを塗りながら炭火でこんがり焼いたもので、仕上げに砂糖をまぶします。寒い季節向きで、街を彩るクリスマスイルミネーションの下、露店で食べるそれはもちもち感たっぷりです。超美味！これに甘さを控えめ名物ホットワインがあったら最高です。ハンガリーにお越しの際はぜひお試しください。



クリスマスイルミネーションに映える  
聖イシュトバーン大聖堂(左)  
これがクルトゥーシュ・カラーチュ(右上)  
有名なくさり橋と王宮(右下)

新しい和の世界をご提案！  
振袖の新ブランド発売開始

京都丸紅(株)  
商品開発部  
Tel: 075-342-3314



『LENA FUJII』、『Xmiss』、『Luxjewel』販売価格：  
振り袖 ¥399,000 (6柄、各2〜3配色 15枚セット)／袋帯 ¥105,000 (『LENA FUJII』は3柄、各  
2〜4配色。ほか2つは3柄、各3配色)(すべて  
税込み)

京都丸紅は、振袖の新ブランド『LENA FUJII』、『Xmiss』、『Luxjewel』の販売を開始しました。『LENA FUJII』は、人気ファッションモデル・藤井リナ氏のプロデュースによる新ブランドで、正統派の古典模様を使い、新しい「和」の世界観を提案します。人気アパレル2ブランドも合わせ、来年1月から全国の専門店やレンタル店で販売を開始します。

「世界の山ちゃん」  
人気のあの味を再現！

(株)山星屋  
商品開発部  
Tel:03-6699-1713



世界の山ちゃん 幻の手羽先しっとりせんべい  
内容量 45g ¥168(税込み)

名古屋で誕生し、現在全国で56店舗を展開する居酒屋チェーン「世界の山ちゃん」。お店の看板メニューであり、大人気商品「幻の手羽先」の味を、おせんべいで再現いたしました。秘伝のタレやピリリと効いたこしょう、しっとりした食感是一度食べたらずまらないおいしさ。創業から24年間、守り続けられてきた味をお楽しみください。

## 商品情報

**IFME (イフミー)で  
お子様の足の成長を  
優しくサポート！**

(株)丸紅フットウェア  
プロダクト事業部  
Tel:06-6260-4530



イフミーワンストラップスニーカー ベージュ  
(上)、ブラウン(左下)、ブラック(右下)。サイズ  
は14.0~21.0(ハーフなし)。  
品番 22-7602 希望小売価格 ¥2,625(税込み)

健康な身体を作るためには、まず健全な足作りを！伸び盛りの子供達にとって、足の成育に合った靴選びはとても大切です。大人の靴を単に小さくしただけではない、子供の足の成長を第一に考えた、正しい子供靴を提供したい。丸紐フットウェアではそんな思いを込めて、IFMEを企画・提案しています。

IRインフォメーション

会社概要 2008年9月30日現在

|         |                                             |
|---------|---------------------------------------------|
| 創業      | 1858年5月                                     |
| 設立      | 1949年12月1日                                  |
| 資本金(単体) | 262,685,964,870円                            |
| 従業員の状況  | 従業員数： 3,843名<br>平均年齢： 41.6歳<br>平均勤続年数：17.4年 |

・上記人数には、国内出向者660名、海外店勤務者・海外出向者・海外研修生652名が含まれております。また、上記3,843名のほかに、海外店現地社員が370名、海外現地法人の現地社員が1,240名おります。

当社ネットワーク 2008年10月1日現在

|           |                                                  |
|-----------|--------------------------------------------------|
| 国内        |                                                  |
| 本社        | 東京都千代田区大手町一丁目4番2号                                |
| 支社・支店・出張所 | 北海道支社、名古屋支社、大阪支社、九州支社、静岡支店等11カ所                  |
| 海外        |                                                  |
| 支店・出張所    | ヨハネスブルグ支店、シンガポール支店、クアラルンプール支店、バンコック支店、マニラ支店等52カ所 |
| 現地法人      | 丸紅米国会社、丸紅欧州会社、丸紅香港華南会社等22の現地法人およびこれらの支店・出張所41カ所  |

海外ネットワーク(70カ国115カ所／2008年10月1日現在)



役員 2008年9月30日現在

|                          |
|--------------------------|
| 取締役および監査役                |
| 取締役会長 勝俣宣夫               |
| 取締役社長* 朝田照男              |
| 取締役副社長執行役員* 松田 章、桑原道夫    |
| 取締役専務執行役員* 関山 護、舩井 勝     |
| 取締役常務執行役員 坂本徹郎           |
| 取締役常務執行役員*               |
| 安江英行、國分文也、梅澤敏徳、崎島隆文      |
| 取締役 藤井正雄、國松孝次            |
| 監査役 渡邊 進、佐々木正典、馬場和人、喜田 理 |

|                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 執行役員                                                                                                           |
| 専務執行役員 望月孝一                                                                                                    |
| 常務執行役員 清水教博、太田道彦                                                                                               |
| 執行役員                                                                                                           |
| 砂押 久、八田賢一、川合紳二、園部成政、山添 茂、浅原多加夫、鹿間千尋、竹下鉄弥、山下忠彦、榎 正博、野村 豊、齊藤秀久、秋吉 満、岡田大介、津田愼悟、生田章一、中村諭吉、山本 勉、鳥居敬三、桑山章司、田中一紹、世一秀直 |

- ・★印の各氏は、代表取締役であり、かつ執行役員を兼務しております。
- ・取締役藤井正雄および取締役國松孝次は、社外取締役であります。
- ・監査役馬場和人および監査役喜田理は、社外監査役であります。
- ・当社は業務運営の一層の強化を図るため、執行役員制度を導入しております。執行役員は35名で構成されております。

株式の状況 2008年9月30日現在

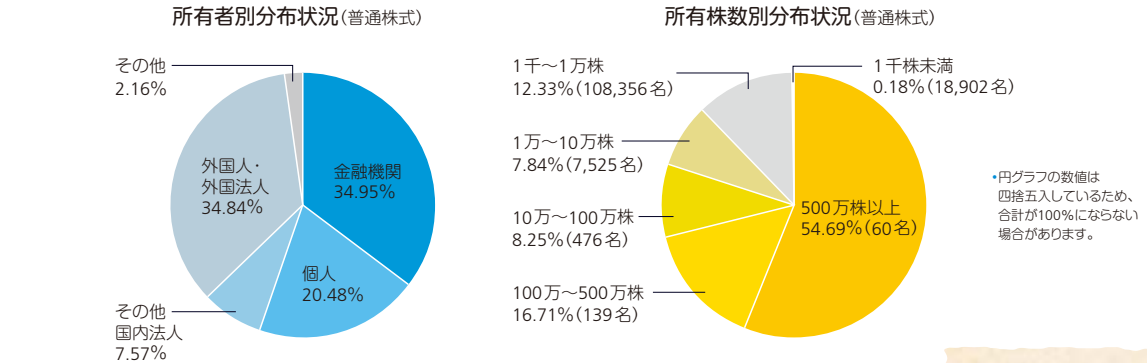
|          |                |
|----------|----------------|
| 発行済株式の総数 |                |
| 普通株式     | 1,737,940,900株 |

|      |          |
|------|----------|
| 株主数  |          |
| 普通株式 | 135,458名 |

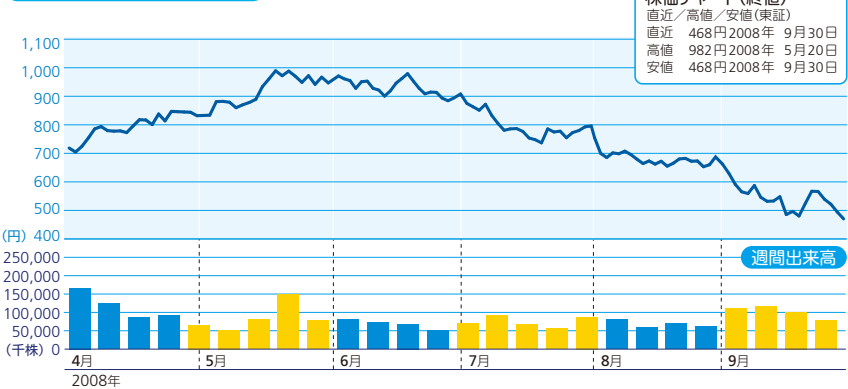
大株主(普通株式)

| 株主名                                | 当社への出資状況 |          |
|------------------------------------|----------|----------|
|                                    | 持株数(千株)  | 議決権比率(%) |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)          | 108,610  | 6.27     |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)            | 71,798   | 4.14     |
| 株式会社損害保険ジャパン                       | 56,111   | 3.24     |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)        | 53,687   | 3.10     |
| 東京海上日動火災保険株式会社                     | 49,859   | 2.88     |
| 明治安田生命保険相互会社                       | 43,118   | 2.49     |
| 株式会社みずほコーポレート銀行                    | 30,000   | 1.73     |
| 日本生命保険相互会社                         | 26,000   | 1.50     |
| ステートストリートバンク アンド トラスト カンパニー 505225 | 22,392   | 1.29     |
| 第一生命保険相互会社                         | 21,581   | 1.24     |

・持株数は千株未満を切り捨て、議決権比率は小数点3位以下を切り捨てております。



株価／出来高の推移 2008年4月1日～2008年9月30日



IRニュースメールを配信しております

決算情報はもちろん、最新のビジネスの動きを伝えるニュースリリースなど、当社の情報をタイムリーにお届けします。パソコンのメールアドレスをお持ちの方ならどなたでも無料でご登録いただけます。ぜひご利用ください。

詳しくは当社ホームページをご覧ください。

<http://www.marubeni.co.jp/ir/mailnews.html>





期待を超える  
 パートナー、丸紅

期待を超えるとき、そこには驚きがある。  
 驚きのその先には、感動がある。発見がある。  
 驚きを生むのは、人間力。熱く輝く人間力。  
 私たちの人間力が、新しい地平を拓きます。  
 私たちは、期待を超えるパートナー、丸紅です。

## 株主メモ

|              |                                                          |               |                                                                                                               |
|--------------|----------------------------------------------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度         | 4月1日から翌年3月31日まで                                          | 同 取 次 所       | みずほ信託銀行株式会社 全国各支店<br>みずほインベスターズ証券株式会社<br>本店および全国各支店                                                           |
| 定時株主総会       | 毎年6月                                                     | 単 元 株 式 数     | 1,000株                                                                                                        |
| 期末配当金支払株主確定日 | 毎年3月31日                                                  | 上 場 証 券 取 引 所 | 東京・名古屋・大阪                                                                                                     |
| 中間配当金支払株主確定日 | 毎年9月30日                                                  | 公 告 方 法       | 電子公告<br>(なお、当社の電子公告は、当社インターネットホームページの以下のアドレスに掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。) |
| 株主名簿管理人      | みずほ信託銀行株式会社<br>〒103-8670<br>東京都中央区八重洲一丁目2番1号             |               | <a href="http://www.marubeni.co.jp/ir/houteikoukoku.html">http://www.marubeni.co.jp/ir/houteikoukoku.html</a> |
| 同事務取扱場所      | みずほ信託銀行株式会社<br>本店 証券代行部<br>〒103-8670<br>東京都中央区八重洲一丁目2番1号 |               |                                                                                                               |

丸紅株式会社 証券コード：8002 インターネットホームページアドレス <http://www.marubeni.co.jp>

住所変更などの手続き、株式事務に関するお問い合わせ、書類のご請求・ご郵送については、下記あてにご連絡ください。

●お問い合わせ先● 株主名簿管理人 〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7  
 みずほ信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-288-324

株主レポート まるべに No.105 (年2回発行) 2008年11月28日発行 発行人／秋吉 満  
 発行／丸紅株式会社 財務部 〒100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2 TEL 03-3282-2496

